

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	令和元年	平成30年	対前年増減	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年
						時 分 秒	時 分 秒
出 生	39,754	42,008	-2,254	7.9	8.3	13' 13"	12' 31"
男	20,343	21,436	-1,093	8.5	9.0	25' 50"	24' 31"
女	19,411	20,572	-1,161	7.3	7.7	27' 04"	25' 32"
死 亡	54,099	53,309	790	10.7	10.6	9' 43"	9' 52"
男	26,731	26,487	244	11.2	11.1	19' 39"	19' 50"
女	27,368	26,822	546	10.2	10.1	19' 12"	19' 35"
(再掲) 乳児死亡	90	89	1	2.3	2.1	97 : 20' 00"	98 : 25' 37"
新生児死亡	35	49	-14	0.9	1.2	250 : 17' 09"	178 : 46' 32"
自 然 増 減	-14,345	-11,301	-3,044	-2.8	-2.2		
死 産	911	955	-44	22.4	22.2	9 : 36' 57"	9 : 10' 22"
自然死産	398	409	-11	9.8	9.5	22 : 00' 36"	21 : 25' 05"
人工死産	513	546	-33	12.6	12.7	17 : 04' 34"	16 : 02' 38"
周産期死亡	123	148	-25	3.1	3.5	71 : 13' 10"	59 : 11' 21"
妊娠満22週以後の死産	96	110	-14	2.4	2.6	91 : 15' 00"	79 : 38' 11"
早期新生児死亡	27	38	-11	0.7	0.9	324 : 26' 40"	230 : 31' 35"
婚 姻	25,777	25,265	512	5.1	5.0	20' 23"	20' 48"
離 婚	9,774	9,624	150	1.94	1.90	53' 47"	54' 37"

	令和元年	平成30年
合計特殊出生率2)	1.44	1.49
年齢調整死亡率3) 男	4.6	4.7
女	2.4	2.4

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。